

シート番号	7102-12	名 称	上総国札八十八ヶ所札所
分 類	記念碑	場 所	人見 青蓮寺
小 分 類	社寺関係碑	メッシュ番号	1815
年 号	和暦：平成元年 6 月吉日 西暦：1989 年		
形 状	自然石型		
サ イ ズ	本体：86×215×16 c m 台石の高さ：24 c m		
画像番号	7102-12-01		



上総国札八十八ヶ所札所

コメント；碑文は次ページです。

上総国札八十八ヶ所札所

第二十四番 青蓮寺（土佐国東寺移）

明星の中でぬるかたの ひがし寺

くらきまよひは なとかあらまじ

県史跡近江屋甚兵衛の墓（海山苔養信

士 弘化元年^{甲辰}九月十二日没七十九才）

で有名な寺 近江屋甚兵衛は、文政五^{壬午}

年当地で海苔養殖に成功し、普及に尽力

した人物である。

青蓮寺は、新義真言宗豊山派の中本寺

君津郡誌には末寺二十五個寺を管すと記

録されており、本堂、庫裡、鐘楼などが

境内に点在し、山頂には観音堂がある。

往時は、山城国醍醐派報恩院の末寺で

したが、明治十年に分離している。天文

九^{庚子}年正月九日に全焼し、旧記悉く焼失

しており、開基年月由緒等不詳である。

しかし乍ら、富津市小久保の新義真言宗

智山派中本寺真福寺の過去帳に嘉録元^{乙酉}

年九月二十五日慈円慈鎮和尚を初祖と

するとの記録がある。

徳川幕府時代には朱印寺領五石を領し

又、妙見大菩薩の別当職でもあった。

後西院天皇の萬治年間宥永上人が伽藍を
建造し、これを中興と称している。

明治三年火災に遭い堂宇は灰となり、

また、明治四十三年八月十一日には、後

背の丘陵が崩壊し本堂が倒壊、その後小

柴眞海和尚は再建を企て、本堂は大正元

年十二月、庫裡は大正三年六月に各々竣

功したのである。

現在の堂宇については、観音堂は昭和

四十三年新築、庫裡は昭和四十五年新築

本堂は昭和五十年に大改修、鐘楼は昭和

五十五年に再建されたものである。

青蓮寺本堂には三十数枚のみごとな天

井絵があり、これが描かれた年代ははっ

きりしませんが一見の価値があります

本堂 御本尊 阿弥陀如来

不動明王

観音堂 御本尊 十一面観世音菩薩

妙見大菩薩

平成元年六月吉日 昭道代

寄進者

光 相模屋海苔店